

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.6
H27.6.19

梅雨の中ですが、プールに子どもの声が響いています



6月8日(月)にプール開きをしました。ちょうどこのころが東海地方の梅雨入りでもありました。この二週間でプールに入れた日は約半分です。水温は徐々に高くなってきていますので、晴れた日には子どもたちは気持ちよさそうにプールに入っています。

1か月余りの間の水遊び・水泳の学習ですが、「水に慣れること」「いろいろな浮き方ができるようになること」「キックやストロークなど泳ぎ方の基本ができるようになること」「クロールや平泳ぎなどで続けて長く泳ぐこと」など、学年や子どもそれぞれの能力に応じて目標をたててがんばっています。

本を読むとどんないいことがあるの？

保護者のみなさんが子どもの頃、きっと多くの人が「本を読みなさい。」「本を読むといいよ。」と言われたものと思います。しかし、「本を読まなくてよい。その必要はありません。」と言われた人は、まずいらっしやらないのではないのでしょうか。

本を読むことで子どもたちがいろいろな世界と出会い、考える場に身を置いたり、想像力をうんと働かせたりすることは、豊かに成長する上でとても大切であると思います。ですから、親や教師は、子どもが本を読むことで、変わる(成長する・力を高めるなど)可能性を感じて、本を読むように言ってきたのだと思います。そして、それは今も変わりません。

読書のいいところ、魅力を言葉だけで伝えるのは難しいものです。一冊の本を読み切った時にそれをきちんと認めたり、本を読み聞かせしたり、本を読んだ感想を紹介し合ったりなど、関わりながら「読書して良かった」と感じるようにしていくことが大切ではないかと思います。

5冊読む、10冊読むという目標を立てて読むこともいいと思います。子どもは冊数を読むことで少しずつ読書のおもしろさや充実感を感じていくものです。まずは本の内容(難易度等)は問わずに、子どもが読みたいと思う本を読むことからいいと思います。たくさん本を読む子どもは、読書のおもしろさや魅力を自分なりに見出している子どもです。「本を読みなさい」と言わなくても、自分から読みます。子どもによって読書の楽しさや良さの感じ方は違うものです。したがって、働きかけも違います。もちろん、発達段階や興味・関心によっても違います。

先日の第1回読書週間でもお知らせしましたように、家族読書も子どもたちが読書を好きになるきっかけであったり、後押しになったりするものです。日常生活においてぜひ取り組めることから、少しでも進めていきたいものです。

「本を読むとどんないいことがあるのか。」教職員何人かでも話してみました。以下はその時に出てきた主なものです。「そうだよね」と共感されるものもあるのではないのでしょうか。



- 自分が知らなかったことを知ることができる。
- 今までに出会わなかった見方や感じ方と出会うことができる。
- 今まで行ってもみなかった世界や場所を想像できる。
- 本を書いた人（作者）と話している気持ちになれる。
- 自分の想像した世界で楽しむことができる。（うれしくなる、ハラハラドキドキするなど）
- 友だちと本を通じて話すことが増え、一層つながりが深まる。 などなど

しっかり聞く・聴く、しっかり見る・観る。。。学習の基本

はばたき第4号で「集中する姿・・・可能性が拓がることを感じてうれしいですね」のことを記載しましたが、6月に入ってから社会見学の見学率やゲストティーチャーを招いての学習など、子どもたちが「よくきいているな」「しっかりみているな」と感じるがよくあります。これは学習の基本であり、成長につながる大切な姿です。漢字でいうと、「聴く」「観る」を使って表現したくなります。この姿をさらに高めていきたいと思います。

※「聴く」といった漢字には積極的に意識して音に耳をかたむける、理解しようと思って進んでいくといった意味があるそうです。「観る」には集中してみる、詳しくみるといった意味があるといえます。

6年生が12日(金)に社会見学に行った時のことです。法隆寺で案内の方から説明をきく姿、大宝蔵院（百済観音や玉虫厨子などの国宝が公開されているところ）をみている姿などに、しっかり「聴く・観る」様子を感じました。



1年生は、16日(火)に東門付近の大型プランターに花の苗を植え付けました。地域の伊藤さんに穴の掘り方や水のやり方などの話をしっかり聞いて、保護者の方にもサポートしていただき、作業をスムーズに進めることができました。



4年生は15日(月)にエコ教室を行いました。ミズノ(株)の方から、環境に大切な3R（Reduce(リデュース)(ごみを減らす)、Reuse(リユース)(繰り返し使う)、Recycle(リサイクル)の話やごみ回収車の説明をきく姿にもしっかり「聴く」を感じました。

橋北小すくすくサポートが始まります

- ◇ 4月に事務局員になっていただく方を募らせていただいていた橋北小学校の教育活動へのサポートを進める「橋北小すくすくサポート」が動き出します。
- ◇ 橋北小学校の教育活動のより一層の充実をめざして、地域や保護者の方々のサポートしていただくボランティア、ゲストティーチャーを募集し、コーディネートする組織です。
(詳しくは、6月19日付けの案内をご覧ください。)
- ◇ 募集案内や活動の記録等の作成、各活動のボランティア登録していただいた方のリスト作成など、事務的な仕事をさせていただく方、すなわち事務局員も引き続いて募集しています。ぜひ、お願いします。

夏休みプール開放の救命講習

お疲れ様でした

6月3日(水)の講習会には、監視にあたっていただく多くの方々に参加していただき、ありがとうございました。

また、この講習会をはじめ様々な準備のお世話をいただいている厚生部・事務局のみなさん本当にありがとうございます。

